

チャペル週報

新しい歌を主に向かって歌え。
主は驚くべき御業を成し遂げられた。
右の御手、聖なる御腕によって
主は救いの御業を果たされた。

(詩編 98:1)



2012.1.6.~1.13 No.26
関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

1月6日(金) 院 樋 口 進 (宗教センター宗教主事)
神 <ステンドグラス奉献礼拝>
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
人 エルス・マリー アンベッケン (人間福祉学部教授)
聖和田 淵 結 (教育学部宗教主事)
理 新年礼拝

1月10日(火) 学部合同チャペル (西宮上ケ原) ランバス記念礼拝堂
平 林 孝 裕 (大学宗教主事)
於：ランバス記念礼拝堂(西宮上ケ原)

1月11日(水) 阪神・淡路大震災メモリアル・合同チャペル (西宮上ケ原)
舟 木 讓 (経済学部宗教主事)
於：ランバス記念礼拝堂(西宮上ケ原)
聖和芝 田 正 夫 (教育学部長・教授)
理「希望」松 木 真 一 (宗教主事)
総 学生チャペル・サポート委員会

1月12日(木) 神 南 部 正 人 (M1)
文 アンドレアス・ルスターホルツ (宗教主事)
社 学年末にあたって 宮 原 浩二郎 (社会学部長・教授)
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
商 小 菅 正 伸 (商学部長・教授)
国 English Chapel Eun Ja Lee (宣教師)
聖和「新しい時を迎えて」広 渡 純 子 (聖和短期大学学長)
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)

1月13日(金) 院 樋 口 進 (宗教センター宗教主事)
神 <子どもと歩む礼拝②> パペットシアター
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 卒業生を覚えて 村 田 治 (経済学部長・教授)
人 芝 野 松次郎 (人間福祉学部長・教授)
聖和震災を覚えて
理 秋学期感謝礼拝

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20～8:40 於：ランバス記念礼拝堂(上ケ原)
1月6日(金)新年を迎えて、自然災害を覚えて 山 中 茂 樹
1月13日(金)卒業する学生のために Els-Marie Anbäcken

新年を迎えて ～本来の「子どもの園」に～

出 原 大

聖和幼稚園は、今年度創立120周年を迎えました。創設当初から自然環境へのかかわりを大事にしてきた本園は、教育方針に「神様の創造された自然の中で心と体を存分に使って遊び、健康的な心身を育み、豊かな感性を培う。」と幼少期からの自然教育の重要性を掲げてきました。

世界ではじめて幼稚園をつくったドイツのフレーベルは、幼稚園のことを「キンダーガルテン（子どもの園・庭）」と言いました。まさに子どもたち（異年齢で）は、神の創造した豊かな自然環境・「園庭」の自然物にふれて遊ぶことが、命の教育に繋がると重要視したのです。

ところがどうでしょう。現在、日本の子どもたちは、幼少期に存分に自然物にふれて遊ぶことができているのでしょうか？人間は自然の一員として自然と共存してきた長い歴史があり、自然環境の中で心身が落ち着くことはごく自然なのです。だから、子どもたちは、自然環境が豊かな空間に入ると、自ら体を動かして遊びだします。そして、緑を見て、森の香りを感じて心を安定させます。これが、健康な心身を育む子ども本来の姿です。また、幼少期は、五感を通して「わあ、きれいだな」「いいにおいがする」「おもしろい音だな」「ごつごつしているな」「おいしいよ」といった様々な感覚を体験することが大切です。子どもたちは、実際にふれる中で、自然の変化を感じ、心が動かされていきます。これが、自然に対する興味・関心に繋がり、豊かな感性が生まれていくのです。さらに、生き物にふれることは、多くの命にふれるということでもあります。子どもたちは、この経験から、命への直接・間接的なかかわりを体験します。これがまた、人間同士、相手のことを考え、愛する心を育むことにもなるのでしょ

う。新年を迎え、今、心新たに、このような本来の「子どもの園」のあり方について瞑想し、力強く実践していきたいと思っております。

（聖和幼稚園・園長）

●**阪神・淡路大震災記念合同チャペル**

と き：2012年1月11日(水)10:35~11:05

ところ：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

●**チャペル・オルガニスト卒業演奏会**

各学部チャペルをはじめ各種式典などでオルガン奏樂を務めるチャペル・オルガニストから今年、8名が関西学院大学を巣立ちます。

それぞれの学生時代の思い出を胸に、これまでのレッスンと練習そしてチャペルでの経験すべてをこの日の演奏に託します。

どうぞご来場いただき、学生時代最後の演奏に拍手をお願いいたします。

と き：3月3日(土)14:00~

ところ：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

●**CD・DVDライブラリー**

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●**使用済み切手収集にご協力ください**

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●**盲導犬育成のためご協力お願いします**

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

●**今号が本年度「チャペル週報」の最終号です**

2012年度は4月9日(月)号からの発行となります。新年度のチャペルや宗教センター、宗教活動委員会、吉岡記念館主催の催し物などのご案内をしてまいります。また瞑想欄では、教職員の方々によるメッセージやエッセイを掲載しますのでご期待ください。